

note発の書籍、400冊を突破！ 創作大賞からの書籍化・映像化も加速



noteへの投稿をきっかけに書籍化された作品が、累計400冊を突破しました。7,500万件以上（2026年2月末時点）の作品が公開されているnoteでは、投稿した記事が話題になり出版社の目に留まるケース、noteが主催するコンテストでの受賞から出版につながるケースなど、書籍化につながる機会が多様化しています。

noteは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに掲げ、クリエイターの活躍の幅を広げる支援にも力を入れています。現在、書籍化や映像化につながる[日本最大級の創作コンテスト「創作大賞2026」](#)の作品を7月8日まで募集しています。

noteから生まれた書籍について

2014年のnoteのサービス開始以来、クリエイターと出版社が会うかたちが広がってきました。初期はnoteへの投稿が話題になり出版につながるケースが中心でしたが、2022年に「創作大賞」が始まって以降は、コンテスト発の書籍化が増加しています。

ジャンル別ではエッセイとビジネス・経済が最多で、次いでコミック、フード、ライフスタイル、小説と多岐にわたります。近年は創作大賞の受賞作がドラマ化・コミカライズされるなど、書籍化にとどまらないメディア展開も生まれています。

noteから生まれた書籍まとめ

<https://note.jp/n/nc10c68860a69>

クリエイターのデビューを後押しするnoteの取り組み

noteの役割は、クリエイターが創作を続けられる環境を提供することです。noteへの投稿を通じて、新たなステージに進み、日常に変化が生まれ、新しい出会いがある。そんな経験がたくさん生まれるよう支援しています。

定期的なコンテストの開催、話題のクリエイターをメディアパートナーに紹介する「[クリエイター支援プログラム](#)」、クリエイターが自身のスキルや実績を明示して仕事を受けやすくする[仕事依頼タブ機能](#)の提供などに取り組んできました。さらに2024年5月には、作品の企画から商業化までを伴走する子会社Tales & Co.を設立し、クリエイターの創作活動を支える体制を強化しています。

なかでも出版社やテレビ局など30以上のメディアが選考に参加し、過去4回（2022年～2025年）で書籍化・映像化・連載化など34作品（2026年5月末時点）のメディア化を実現してきた「創作大賞」は、書籍化の入り口のひとつとして定着しています。

現在、「創作大賞2026」の作品を2026年7月8日（水）まで受け付けています。プロ・アマチュア問わず、あらゆるジャンルの作品が応募可能です。

▼ 創作大賞2026の詳細

<https://note.com/creative-award>

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約7520万件の作品が誕生。会員数は1178万人（2026年2月末時点）に達しています。

- URL：<https://note.com/>
- iOSアプリ：<https://apps.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ：<https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2 設立日：2011年12月8日

代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>